

# 第1回綾野学区ぶっちゃけ談義アンケート調査結果

問1. 性別はどちらですか。

男性	39	女性	9
----	----	----	---

問2. 年齢はおいくつですか。

20歳未満		20代	
30代	1	40代	8
50代	9	60～64歳	11
65～74歳	15	75歳以上	4

問3. あなたがお住まいの地域（区・自治会・他）を教えてください。

《該当する区・自治会・地域に○印をつけてください》

(Aブロック)		(Bブロック)		(Cブロック)		(Dブロック)	
名坂区	4	14区	0	17区	3	20区	3
東名坂区	4	15区	1	18区	2	21区	0
名坂堂山区	3	16区	2	19区	2	22区	5
笹が丘(綾野学区)	0	城内自治会	2	城南区	3	林口区	2
不明	1	あやの中央自治会	3	梅の木自治会	3	本丸自治会	0
		不明	1	的場地域	2	南林口地域	0
						不明	1
その他(梅ヶ丘?)	1						

問4. 水口町綾野学区内にお住まいになって、何年になりますか。

5年以内	5	6年～10年	2
11年～20年	3	21年以上	22
生まれてからずっと	16		

問5. これからも水口町綾野学区内に住み続けたいと思いますか。

あてはまるものを一つ選んでください。

これからも住み続けたい	46	いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい	0
離れたくないが、市外へ移転することになると思う	1	市外に移転したい	1

問6. 今回のような“ぶっちゃんけ談義”を続ける事にどう思われますか。  
一つ選んで○を付けてください

続けてよい	35	どちらでもよい	9	不要	4
-------	----	---------	---	----	---

問7. 問6で①もしくは②を選ばれた方でどういうテーマがよいと思われますか。  
下記に自由にお書きください。

○具体的に何かを始められるテーマがいいです。今日の結果をふまえて。健康に暮らすにはとか

○30代、40代限定のぶっちゃんけなど、あまりこういうところに出ない人対象も

○やはり相互の意見交換とそれによる相互理解の場は必要

○地域で子どもたちを育てる活動について ○高齢者～小学校までの世代交流

○学区の未来について ○高齢者の活躍・見守り

○若い人の参加を望み声を聞きたい ○地域の未来について

○これと言った発想が決まれば継続して貰いたい。題材は何でもよい

○普通に暮らせること ○綾野学区の良いところ悪いところ

○コミュニケーションの活性化を行える様な企画、行事を増加できる様なテーマ

○新しい自治会と古くからの自治会ではテーマを変えて話し合うのがよいのでは。

○綾野学区を活気づけ、楽しく暮らすための方策 ○高齢者の対策

○災害時の対応する組織について ○防災・区

○これからの子ども達にとって住みよい街づくり

○今後に期待するテーマを検討したい ○今日のテーマ

○人と人とのコミュニケーションを高めるためにどうすれば良いか

○身近な地域課題について。もっと考えて意見交換できればと思います

○人が変わると思うので、同じテーマでよいと思う

○参加する人が変わるなら同じテーマでもよい

○余り変わらないなら今回の身近なテーマから市政全体に広げてもよい

○行政の具体策の提示に基づく討論も必要かと思う ○健康について

○綾野のよさを追求・見直す ○おちついた雰囲気が良い

○身近な事。例えば交通の便とか、公民館の在り方とか ○家族で暮らせること

○あいさつをしよう！！ ○「住みやすい町づくり」に対してもっと具体的に

○いろんな方が集まっていたので楽しい話題が沢山出てこの時間が楽しかった

○交通関係（歩道、通学道） ○テーマは何でもよいと思います（教育・交通等）

○テーマではないが、問題となる事柄を具体的に出し合えたらいいと思う

○日常生活で不便なことや困っていることなど

○綾野学区中心のテーマでよいと思われる

○交通・住居・教育・健康等テーマと決定する

問8. 甲賀の國づくりプロジェクトの戦略の基本理念は、『市民幸福度の最大化でわがまち「甲賀」の人口減少に挑む』です。あなたにとって、「しあわせ」とは何でし

ようか。

- 家族が幸せでいることそして近隣の人が幸せでいること ○家族の健康
- 毎日の食事がおいしい（食欲があること） ○子ども・孫の健康（心&体）
- 家族で健康に生活できる事 ○普通に生活できること
- 個人個人「しあわせ」の度合いが違うと思う。その時その時が自分で「しあわせ」であればよいと思う。 ○健康 ○健康生涯 ○健康・働ける
- 近所の人と良く話ができる ○健康で地域に住めること
- 健康管理を大事にしていく ○家族の幸せ ○家族
- 家族が仲良く笑顔で暮らせること。そういう人達が増えていく事
- 日常生活の中でコミュニケーションが密になった地域で生活をしていきたい
- 生活・住居・子供・古民家利用⇒各施策を分類化し分かりやすい制度を作って欲しい ○結婚・子供を授かること
- 健康で普通の暮らしが続けられる事。「ふつう」とは衣食住が困ることなく満たされていること。そのためには安全も大事。備え・コミュニティづくり
- コミュニケーションをとれること ○家族が幸せに暮らせること
- 好きな事（趣味）ができる事 ○日常生活を普通に送る事
- いきがいづくり（仕事・ボランティア・楽しいイベント等）
- 大家族で協力し合って住む事 ○地域・年齢を越えたコミュニケーション化
- 人との関係で仲良くやっていく事 ○ストレスのない生活
- 人に迷惑をかけなければ自由 ○家族が笑顔で生活できる筈（気持ちの余裕が必要）
- 家族や仲間が仲良く穏やかな日々を送れること ○みんなの健康が一番
- 最小限の衣食住に恵まれる事（贅沢はいらない）
- 健康でもし一人になってもご近所、地域の誰かがいつも声をかけてくれる町。すぐ入れる施設が沢山あること ○健康で生活できること
- 日々の暮らしを幸せと感じたい。甲賀全体で街づくりを市がもっと積極的にやってもらいたい。甲賀市全体の人々が幸せを感じれる街にしてもらいたい
- 明るく楽しくほがらかに元気に生活ができれば「しあわせ」

#### 【その他の想い】

○子育て支援———お金を配るだけでは結局ローン返済などに回ったりして本当に子どもの為に使われるか分からない。また、保育施設（子ども園ばかり）増やすことではない。保育士の質を上げるなどいろいろある。

○不要⇒このような内容なら不要。折角市当局に来てもらっているのに現状と未来予測のみの説明で甲賀市としての具体的ビジョン（方針）が語られていない。そのため

ディスカッションがぼんやりして意味のないものになっている。建設的な議論にしようとした場合、一定の前提を共有してはじめて具体化する。話合うテーマも抽象的でよくない。このような内容・進め方、市の説明ならやめた方がよい

以上